

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)				
04	<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供 するため、<u>認定看護師や専門看護師の資格取得を 目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を 目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に 参加できる体制を引き続き確保する。</u></p>	<p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計 画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のため の研修・講習に参加できる体制を継続して確保し ている。</p> <p>・専門看護師数 小児看護専門看護師 2名 がん看護専門看護師 1名</p> <p>・認定看護師数 がん化学療法看護認定看護師 2名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 感染管理認定看護師 2名 救急看護認定看護師 1名 小児救急看護認定看護師 1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師 3名 新生児集中ケア認定看護師 1名 (平成24年度認定登録：2名)</p> <p>・研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 看護師</td> <td>[長期] ・集中ケア H24.4→H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4→H25.3 1名</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	内 容	認定 看護師	[長期] ・集中ケア H24.4→H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4→H25.3 1名	IV	<p>評価の検討 IV→III 業務実績としては順調であり、多くの認定看 護師・専門看護師を確保しているが、年度計画 を上回るものとはいえない。</p> <p>IVのまま 認定看護師や専門看護師の資格取得のため の研修・講習に参加できる体制を充実させ、多 くの認定看護師・専門看護師を確保しているこ とは評価できる。</p>	<p>III 業務実績としては順調であり、多くの認定 看護師・専門看護師を確保しているが、年度 計画を上回るものとはいえない。</p> <p>平成24年度に2名の認定看護師・専門看護 師を養成しており、看護の質の向上に寄与す るものと思われる。</p>
項 目	内 容								
認定 看護師	[長期] ・集中ケア H24.4→H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4→H25.3 1名								

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																															
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																														
		<ul style="list-style-type: none"> ・がん放射線療法看護 H24.7→H25.2 1名 ※平成25年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H23:5名→H24:6名 ・実習指導者講習会 H23:1名→H24:2名 ・医療安全研修 H23:5名→H24:2名 																																																																	
		学会等参加 <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・その他 看護学会 延べ H23:98→H24:153名 																																																																	
		単位:人(各年度末時点)																																																																	
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>分野</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>9</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>					分野	H22	H23	H24	認定	がん化学療法	1	1	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	1	2	2	救急看護	1	1	1	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	-	1	1	計		9	11	12	専門	小児看護	-	1	2	がん看護	-	1	1	計		0	2	3	合計		9	13	15
	分野	H22	H23	H24																																																															
認定	がん化学療法	1	1	2																																																															
	がん性疼痛	1	1	1																																																															
	感染管理	1	2	2																																																															
	救急看護	1	1	1																																																															
	小児救急	1	1	1																																																															
	摂食・嚥下障害	1	1	1																																																															
	皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																															
	新生児集中ケア	-	1	1																																																															
計		9	11	12																																																															
専門	小児看護	-	1	2																																																															
	がん看護	-	1	1																																																															
計		0	2	3																																																															
合計		9	13	15																																																															

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
05	<p>・ コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線治療管理士講習会 S r 8 9 治療の安全取扱講習会 診療放射線技師実習施設指導者講習会 PET 研修セミナー 放射線治療セミナー その他各種学会、研修会等への参加 <p>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</p> <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 日本糖尿病療養指導士 感染制御認定臨床微生物検査技師 その他各種学会、研修会等への参加 <p>【薬剤師】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん専門薬剤師 感染制御専門薬剤師 糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>・ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</p> <p>特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本放射線技術学会 放射線治療品質管理士講習会 日本放射線治療セミナー 日本核医学技術学会 実習施設指導者等講習会 <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床衛生検査技師会 日本超音波学会 心臓リハビリテーション学会 日本臨床微生物学会 認定心電図検査技師講習会 日本輸血・細胞治療学会 日本心エコー図学会 <p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本TDM学会学術大会 日本病院薬剤師会実務研修会 日本薬品情報学会総会 日本薬学東海支部合同学術会議 医療薬学フォーラム がん専門薬剤師集中教育講座 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 	IV		<p>多くのコメディカルが研修に参加しており評価できる。</p>

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																
	<p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 ・摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 ・3学会合同呼吸療法認定士 ・日本糖尿病療養指導士 ・「がんのリハビリテーション研修ワークショップ」課程 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食・嚥下障害セミナー <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・全国自治体病院協議会栄養部会研修会 <p>コメディカル専門研修の参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>78 人</td> <td>106 人</td> <td>172 人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>24 人</td> <td>80 人</td> <td>138 人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>16 人</td> <td>7 人</td> <td>45 人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>74 人</td> <td>112 人</td> <td>125 人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>6 人</td> <td>15 人</td> <td>13 人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>26 人</td> <td>23 人</td> <td>51 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>224 人</td> <td>343 人</td> <td>493 人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	薬剤師	78 人	106 人	172 人	臨床検査技師	24 人	80 人	138 人	臨床工学技士	16 人	7 人	45 人	リハビリ技師	74 人	112 人	125 人	管理栄養士	6 人	15 人	13 人	放射線技師	26 人	23 人	51 人	合 計	224 人	343 人	493 人			
	H22	H23	H24																																		
薬剤師	78 人	106 人	172 人																																		
臨床検査技師	24 人	80 人	138 人																																		
臨床工学技士	16 人	7 人	45 人																																		
リハビリ技師	74 人	112 人	125 人																																		
管理栄養士	6 人	15 人	13 人																																		
放射線技師	26 人	23 人	51 人																																		
合 計	224 人	343 人	493 人																																		
09	<p>・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p>	<p>○外来待ち時間対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。 ①検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。 ②看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。 ③入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。 ④病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底した。 <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17 分</td> <td>26 分</td> <td>22 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査 (アンケート) 結果 ※指標を予約時間と実際に診療を開始した時間までを待ち時間とすることに変更した。</p>	H22	H23	H24	17 分	26 分	22 分	IV		<p>診療待ち時間・検査待ち時間の短縮に向けての取り組みが積極的に実施されている。また、弾力的な運用などにより手術数が増加しており、急性期病院としての役割を十分に果たしている。</p>																										
H22	H23	H24																																			
17 分	26 分	22 分																																			

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																
	<p>検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p>	<p>・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。</p> <p>①待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけるよう便宜を図っている。</p> <p>②診療科に即したパンフレットや図書を配置</p> <p>・待ち時間調査の実施 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施 (9/13) するとともに、システムによる待ち時間の把握を年 4 回行い、状況の把握に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30 分</th> <th>30～2 時間</th> <th>2 時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23. 8 月</td> <td>40.1%</td> <td>54.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H24. 1 月</td> <td>51.9%</td> <td>42.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H25. 1 月</td> <td>49.4%</td> <td>45.9%</td> <td>4.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※24 年度中における待ち時間の解消 30 分以内、30 分～2 時間以内の待ち時間とも若干増加したものの、2 時間を超える長時間の待ち時間は減少した：+0.7 ポイントの改善</p> <p>・計算支払い窓口 (自動精算機) の増設 診療費の支払い待ち時間の短縮のため、診療費自動精算機を増設 (1 台→3 台) し、支払窓口を合計 3 窓→5 窓とした。(精算機含む)</p> <p>○臨床検査部門</p> <p>・超音波検査 (生理検査部門) 技師の配置状況 H23 : 6.5 名 → H24 : 6.5 名</p> <p>・超音波検査予約枠の増設、変更 診療科からの要望に対して、機能的な予約枠の増設、変更を行なった。</p> <p>・超音波検査件数の増加 (外来分) H23 : 13,287 件 → H24 : 14,737 件 (10.9%増)</p>	待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～	H23. 8 月	40.1%	54.8%	5.3%	H24. 1 月	51.9%	42.8%	5.3%	H25. 1 月	49.4%	45.9%	4.6%			
待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～																		
H23. 8 月	40.1%	54.8%	5.3%																		
H24. 1 月	51.9%	42.8%	5.3%																		
H25. 1 月	49.4%	45.9%	4.6%																		

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)																																															
		<ul style="list-style-type: none"> 超音波検査待ち時間の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分未 満</th> <th>～90 分</th> <th>90分 超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.4</td> <td>1,208 件</td> <td>97.4%</td> <td>2.3 %</td> <td>0.3 %</td> </tr> <tr> <td>H23.4</td> <td>1,292 件</td> <td>98.6%</td> <td>1.3 %</td> <td>0.1 %</td> </tr> <tr> <td>H24.4</td> <td>1,505 件</td> <td>98.2%</td> <td>1.7 %</td> <td>0.1 %</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 採血室：採血開始時間を8時15分に繰り上げたことにより待ち時間は解消されつつある。 ○中央放射線部門 CT検査予約枠変更 CT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日数の短縮を図った。 MR検査数増加への対応 予約検査待ち日数解消のため、時間外検査枠を増設し待ち日数の短縮を図る。また、MRI装置のアップグレードを行ったことによる検査数が大幅に増加し、待ち日数が短縮された。 検査件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MR 外来</th> <th>MR 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>22,636</td> <td>5,841</td> <td>7,994</td> <td>1,693</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>24,488</td> <td>6,256</td> <td>10,115</td> <td>2,168</td> </tr> </tbody> </table> 検査待ち日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>10日</td> <td>7日</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>17日</td> <td>21日</td> <td>14日</td> </tr> </tbody> </table> 手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用、手術機材のキット化（あらかじめセットしている状態）を促進したことによる準備期間の短縮及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術待ち時間を短縮できた。 				総数	60分未 満	～90 分	90分 超	H22.4	1,208 件	97.4%	2.3 %	0.3 %	H23.4	1,292 件	98.6%	1.3 %	0.1 %	H24.4	1,505 件	98.2%	1.7 %	0.1 %		CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院	H23	22,636	5,841	7,994	1,693	H24	24,488	6,256	10,115	2,168		H22	H23	H24	CT	10日	7日	4日	MRI	17日	21日	14日			
	総数	60分未 満	～90 分	90分 超																																																		
H22.4	1,208 件	97.4%	2.3 %	0.3 %																																																		
H23.4	1,292 件	98.6%	1.3 %	0.1 %																																																		
H24.4	1,505 件	98.2%	1.7 %	0.1 %																																																		
	CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院																																																		
H23	22,636	5,841	7,994	1,693																																																		
H24	24,488	6,256	10,115	2,168																																																		
	H22	H23	H24																																																			
CT	10日	7日	4日																																																			
MRI	17日	21日	14日																																																			
	平成23年度は総合麻酔センターを設置し、麻酔医4名から6名へ増員し麻酔科部が強化された。手術件数が平成22年度は5,407件、平成23年度は2月末で5,114件と同時期（平成23年2月末4,913件）と比較すると4.																																																					

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証														
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)												
	1%増加し、各科の手術待ち患者の解消に努めた。平成24年度は、手術部の問題点の抽出に努め、手術枠の効率的な運用を考え実施することで、手術件数を増大させ（目標値5,800件）手術待ち時間の改善につなげる。	時間内手術室稼働率・総手術件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>55.2%</td> <td>56.9%</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>5,407件</td> <td>5,614件</td> <td>6,029件</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	H24	稼働率	55.2%	56.9%	62.9%	件数	5,407件	5,614件	6,029件			
	H22	H23	H24																
稼働率	55.2%	56.9%	62.9%																
件数	5,407件	5,614件	6,029件																
12	<ul style="list-style-type: none"> 患者の視点に立ったより良い医療の提供 Humanity（人間性を大切に）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。 外部先進病院から講師を招へいし、医療安全に関する研修を実施した。 タイトル：「全職員で取り組む医療安全～情報の共有が患者の安全を高める～」 開催時期：平成24年5月 参加者数：205名 タイトル：「医療者が使える基礎的法知識+患者家族対応力」 開催時期：平成25年2月 参加者数：192名 カルテ開示請求件数・開示件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	H24	請求件数	59	56	72	開示件数	59	56	72	IV	評価の検討 IV→III 年度計画のとおり、患者の権利を院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、ホームページに掲載したが、年度計画を上回っているものとまでは言えない。 IVのまま 患者の権利を院内、病院案内、入院案内、ホームページにも掲載しただけではなく、職員を対象とした医療安全に関する研修を実施し、カルテの開示請求すべてに対応した。	III 患者の権利を院内、病院案内、入院案内、ホームページにも掲載しただけではなく、職員を対象とした医療安全に関する研修を実施し、カルテの開示請求すべてに対応しているが、年度計画を上回っているとまでは言えない。
	H22	H23	H24																
請求件数	59	56	72																
開示件数	59	56	72																
18	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 本院と地域の病院・診療所がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率は年度計画を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。 紹介率・逆紹介率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>13,330</td> <td>13,538</td> <td>14,524</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	H24	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	紹介実施件数	13,330	13,538	14,524	IV		「地域医療支援病院」として要求される水準を大きく上回り、近隣の医療機関との役割分担と連携強化を実現されており、地域医療の全体的な水準の強化に大きく貢献している。
	H22	H23	H24																
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%																
紹介実施件数	13,330	13,538	14,524																

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)															
			件	件	件																	
		逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%																	
		逆紹介実施件 数	16,937 件	16,867 件	18,488 件																	
		<p>・地域医療推進協議会の開催 当院の地域医療の現状と医療連携に係る問題点等について意見交換を実施した。 第1回：平成24年6月13日 第2回：平成24年9月11日 第3回：平成24年12月10日 第4回：平成25年3月4日</p>																				
25	<p>・女性医療センター <u>女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、婦人科疾患、乳腺疾患等さまざまな女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。</u>また、女性の「心」・「体」を総合的に診察する「女性外来」を専門外来として設置している。</p>	<p>・診療体制は、各診療科の常勤女性医師32名（内科、外科、産婦人科、小児科、皮膚科など）と昨年度20名と比べて増強を図るとともに、院内女性心理療法士による心理カウンセリング等のサポート体制もとっている。</p> <p>・8階東病棟を「女性専用病棟」として、女性科、乳腺外科、外科、消化器内科の女性入院患者の治療に取り組み、女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護や安らぎづくりに努めている。</p> <p>特にソフト面での気配りとして、カーテンの色、病棟の色彩、談話室の雑誌、病棟に流れる音楽等に女性的なものを導入している。</p>			III	<p>評価の検討 III→IV 女性医師を大幅に増員し診療体制の充実を図っており評価できる。</p> <p>IIIのまま 女性医師を大幅に増員し診療体制の充実を図っている努力は認められるが、年度計画を上回るものとはいえない。</p>	<p>「III」 女性医師を大幅に増員し診療体制の充実を図っている努力は認められるが、年度計画を上回るものとはいえない。</p>															
		<p>・実績（8東入院患者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>613</td> <td>559</td> <td>618</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>378</td> <td>457</td> <td>402</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>195</td> <td>183</td> <td>201</td> </tr> </tbody> </table>			項目・年度	H22	H23	H24	産婦人科	613	559	618	外科	378	457	402	消化器科	195	183	201		
項目・年度	H22	H23	H24																			
産婦人科	613	559	618																			
外科	378	457	402																			
消化器科	195	183	201																			
		<p>・女性科疾患</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目・年度	H22	H23	H24														
項目・年度	H22	H23	H24																			

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																															
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)																													
		<table border="1"> <tr><td>卵巣がん</td><td>68</td><td>83</td><td>116</td></tr> <tr><td>卵巣腫瘍</td><td>72</td><td>66</td><td>67</td></tr> <tr><td>子宮癌 (体・内膜)</td><td>75</td><td>71</td><td>79</td></tr> <tr><td>子宮筋腫</td><td>66</td><td>44</td><td>68</td></tr> <tr><td>子宮頸がん</td><td>95</td><td>79</td><td>64</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>139</td><td>169</td><td>177</td></tr> </table> <p>・女性外来患者数</p> <table border="1"> <tr><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td></tr> <tr><td>1,133 人</td><td>1,612 人</td><td>1,998 人</td></tr> </table>	卵巣がん	68	83	116	卵巣腫瘍	72	66	67	子宮癌 (体・内膜)	75	71	79	子宮筋腫	66	44	68	子宮頸がん	95	79	64	乳がん	139	169	177	H22	H23	H24	1,133 人	1,612 人	1,998 人				
卵巣がん	68	83	116																																	
卵巣腫瘍	72	66	67																																	
子宮癌 (体・内膜)	75	71	79																																	
子宮筋腫	66	44	68																																	
子宮頸がん	95	79	64																																	
乳がん	139	169	177																																	
H22	H23	H24																																		
1,133 人	1,612 人	1,998 人																																		
33	<p>・質の高い医療従事者の養成 最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるよう支援する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を引き続き検討する。</p>	<p>・各診療科・部において医療従事者の養成を行っている。</p> <p>・国内外での長期の留学・研究等が行えるよう規定を整備済みである。</p> <p>・平成24年度医師派遣</p> <p>① 放射線治療科、派遣先：米国 (カルフォルニア大学サンディエゴ校)</p> <p>② 循環器内科、派遣先：横浜労災病院 (1回/月)</p> <p>③ 耳鼻咽喉科、派遣先：公益財団法人がん研究会 有明病院</p> <p>④ 循環器内科、派遣先：静岡県立総合病院 (1回/月)</p> <p>⑤ 循環器内科、派遣先：米国 (ハーバード大学医学部 ブリガム・アンド・ウィメンズ病院)</p> <p>初期臨床研修医数 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td></tr> <tr><td>医師</td><td>25 人</td><td>29 人</td><td>33 人</td></tr> <tr><td>歯科医師</td><td>2 人</td><td>2 人</td><td>2 人</td></tr> </table>		H22	H23	H24	医師	25 人	29 人	33 人	歯科医師	2 人	2 人	2 人	III		最先端の医療技術・知識の取得のため、国内外に医師を派遣しており、質の高い医療従事者の養成に取り組まれている。岐阜の地域医療に貢献していただきたい。																			
	H22	H23	H24																																	
医師	25 人	29 人	33 人																																	
歯科医師	2 人	2 人	2 人																																	
38	<p>・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 平成23年度は、岐阜県立下呂温泉病院 (4月</p>	<p>・平成24年度は、岐阜県立下呂温泉病院 (31名)、高山赤十字病院 (7名)、揖斐厚生病院 (3</p>	IV		医師不足地域の医療機関への医師派遣につ																															

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																				
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																		
	<p>から1名：小児科、随時：産婦人科)、高山赤十字病院(4月から1名：循環器内科)、下呂市立金山病院(1名/月1回当直、外科)において診療における人的支援を行った。</p> <p>今後も地域医療支援の機能を果たすため、引き続き医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	<p>名)、下呂市立金山病院(1人/月1回当直)、久々野診療所(1人/週1回)、郡上市民病院(1人/月2回・1人/週1回)、中濃厚生病院(1人/週1回)において診療における人的支援を行った。</p> <p>他の医療機関への人的支援の状況(延べ日数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>399</td> <td>461</td> <td>548</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>447</td> <td>244</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>28</td> <td>224</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東海中央病院</td> <td>94</td> <td>—</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>東白川診療所</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>坂内村国民健康保険診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>980</td> <td>971</td> <td>1,515</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H22	H23	H24	県立下呂温泉病院	399	461	548	高山赤十字病院	447	244	504	揖斐厚生病院	—	21	245	下呂市立金山病院	12	12	12	木沢記念病院	28	224	—	東海中央病院	94	—	62	東白川診療所	—	9	—	久々野診療所	—	—	43	坂内村国民健康保険診療所	—	—	45	郡上市民病院	—	—	31	中濃厚生病院	—	—	25	合 計	980	971	1,515			<p>いては、新たに久々野診療所や坂内国保診療所等に派遣するなど積極的に実施されており評価できる。</p>
派遣先医療機関名	H22	H23	H24																																																						
県立下呂温泉病院	399	461	548																																																						
高山赤十字病院	447	244	504																																																						
揖斐厚生病院	—	21	245																																																						
下呂市立金山病院	12	12	12																																																						
木沢記念病院	28	224	—																																																						
東海中央病院	94	—	62																																																						
東白川診療所	—	9	—																																																						
久々野診療所	—	—	43																																																						
坂内村国民健康保険診療所	—	—	45																																																						
郡上市民病院	—	—	31																																																						
中濃厚生病院	—	—	25																																																						
合 計	980	971	1,515																																																						
39	<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上でへき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援を行う。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	<p>・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結し、依頼に応じて派遣する体制を整備</p> <p>・へき地派遣(H24実績)</p> <p>国保和良診療所：ひ尿器科 1名 高山赤十字病院：外科2名、循環器内科3名、小児循環器内科 2名</p> <p>下呂温泉病院：小児科4名、総合診療科2名、循環器内科7名、消火器内科7名、呼吸器内科3名、糖尿病内分泌科3名、腎臓内科2名、神経内科2名、乳腺外科1名、</p> <p>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることにより医師不足の解消を図ることを目的として、平成22年9月に、岐阜大学医学部、同附属病院、及び研修医が多く集まる病院とともに「岐阜県医師育成・確保コンソ</p>	IV		<p>へき地医療拠点病院として、岐阜県へき地医療支援機構の要請に応じ医師を派遣していることは評価できる。</p>																																																				

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																
		<p>ーシウム」に参加した。</p> <p>後期研修医のへき地派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>11 人</td> <td>10 人</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11 人</td> <td>10 人</td> <td>15 人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H22	H23	H24	県立下呂温泉病院	11 人	10 人	15 人	合 計	11 人	10 人	15 人							
派遣先医療機関名	H22	H23	H24																		
県立下呂温泉病院	11 人	10 人	15 人																		
合 計	11 人	10 人	15 人																		
50	<p>・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム（医師事務作業補助職員：32人（平成23年度）→39人、看護事務補助職員：20人（平成23年度）→25人）の強化、充実を図る。</p>	<p>・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。</p> <p>医師・看護師事務作業補助者数（各年3.31）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>20 人</td> <td>38 人</td> <td>48 人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>16 人</td> <td>26 人</td> <td>26 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>36 人</td> <td>64 人</td> <td>74 人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	医師クラーク	20 人	38 人	48 人	看護クラーク	16 人	26 人	26 人	合 計	36 人	64 人	74 人	IV		<p>医師クラークを増員して、医師の業務負担の軽減を図っていることは評価できる。</p>
	H22	H23	H24																		
医師クラーク	20 人	38 人	48 人																		
看護クラーク	16 人	26 人	26 人																		
合 計	36 人	64 人	74 人																		
52	<p>職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するため、県内・他県の先進事例を参考に、<u>独自の人事評価制度の構築に向け引き続き検討する。</u></p>	<p><人事評価制度構築への取り組み状況></p> <p>・制度の構築作業が円滑かつ効果的に推進するよう、専門業者に事業を委託し、制度の構築及び職員に対する研修業務等を実施した（業者はプロポーザル方式により選定）。</p> <p>○1～2回/月の頻度で人事評価制度検討委員会を開催し、制度の基本設計及び詳細設計等を検討し、制度を構築した。</p> <p>○職員に対する説明会及び評価者に対する研修会を実施（3/25,27）し、平成25年度には3診療科、看護部、薬剤部、中央放射線部、事務局を抽出して試行を実施する段階に達した。</p>	IV	<p>評価の検討</p> <p>IV→III</p> <p>人事評価制度の構築をしたが、その効果について不明であるため、年度計画ごとりと判断する。</p> <p>IVのまま</p> <p>年度計画では、人事評価制度の構築に向け検討するとあるが、平成24年度中に制度を構築したのであるから、年度計画を上回るものと判断する。</p>	<p>「IV」</p> <p>年度計画では、人事評価制度の構築に向け検討するとあるが、平成24年度中に制度を構築したのであるから、年度計画を上回るものと判断する。</p> <p>ぜひ、今後、その効果について検証されたい。</p>																
54	<p>入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り組みを参考に、<u>複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・</u></p>	<p>・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。</p>	IV	<p>評価の検討</p> <p>IV→III</p> <p>年度計画どおり、多様な契約手法の導入によ</p>	<p>「IV」</p> <p>価格交渉や委託契約の見直しにより、診療</p>																

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
	<u>迅速化を図り、経費の節減を図る。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い効率的な管理を推進した。 診療情報システム及び同ネットワークに係る保守管理については前年度に実施した委託業務の見直し結果を活用し、大幅な削減効果を得られた。 		<p>り経費の節減を図っているものである。</p> <p>Ⅳのまま</p> <p>価格交渉や委託契約の見直しにより、診療材料は約600万円、電子カルテシステム維持管理は約1,600万円の大幅に節減をしております。</p> <p>(また、平成24年度に医療総合情報システムネットワーク機器の入れ替えに伴う契約の見直しにより平成25年度は約3,700万円の費用削減できる予定。)</p>	<p>材料は約600万円、電子カルテシステム維持管理は約1,600万円の大幅に節減をしております。</p>																								
57	<ul style="list-style-type: none"> 入院時医学管理加算として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 <p>平成24年度の診療報酬改定に柔軟に対応し、診療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い、速やかに届出等を行う。特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など取入への影響が大きい加算については、その算定基準（要件）を維持する。</p> <p>総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上</p> <p>地域医療支援病院入院診療加算：紹介率40%以上、逆紹介率60%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合入院体制加算の要件である「地域の他の保険医療機関との連携のもとに、診療情報提供料（Ⅰ）の加算を算定する退院患者数及び治療し通院の必要のない患者数が直近の1ヶ月間の総退院患者数のうち、4割以上であること」（退院時加算40%以上）が達成できた。 実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>13,330件</td> <td>13,538件</td> <td>14,524件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> <td>75.7%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>16,937件</td> <td>16,867件</td> <td>18,488件</td> </tr> <tr> <td>退院時加算</td> <td>42.1%</td> <td>44.5%</td> <td>50.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件	逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件	退院時加算	42.1%	44.5%	50.2%	IV	<p>評価の検討</p> <p>Ⅳ→Ⅲ</p> <p>入院時医学管理加算（総合入院体制加算）を確保するため退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上をはかり、順調に計画通り実施したものであるため、計画どおりとする。</p> <p>Ⅳのまま</p> <p>退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）が計画目標数値を大きく上回り、近隣の医療機関との連携強化により地域医療の全体的な水準の向上に大きく貢献しているものであり、年度計画以上に達成できたと認められる。</p>	<p>「Ⅳ」</p> <p>退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）が計画目標数値を大きく上回り、近隣の医療機関との連携強化により地域医療の全体的な水準の向上に大きく貢献しているものであり、年度計画以上に達成できたと認められる。</p>
	H22	H23	H24																										
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%																										
紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件																										
逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%																										
逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件																										
退院時加算	42.1%	44.5%	50.2%																										

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																												
59	<p>・「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率103.1%、及び職員給与費対医業収益比率47.2%と年度計画を上回る結果となった。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>97.2%</td> <td>98.8%</td> <td>103.1%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>47.4%</td> <td>47.2%</td> <td>47.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	経常収支	97.2%	98.8%	103.1%	職員給与費	47.4%	47.2%	47.2%	IV		<p>経営努力により、地方独立行政法人化後、初めて経常収支比率が100%を超え黒字へ転換できたことは評価できる。また、前年度に比べて経常収支比率の伸び率も大きくなっていることも評価できる。</p>																
	H22	H23	H24																														
経常収支	97.2%	98.8%	103.1%																														
職員給与費	47.4%	47.2%	47.2%																														
60	<p>・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、医師事務作業補助職員や看護事務補助職員を始めとする専門職の雇用を拡充し、<u>病院職員の最適な勤務環境の改善に努める。</u></p>	<p>・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。</p> <p>・医療クラーク：48人、病棟等看護クラーク：28人（平成24年度末）</p> <p>(各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>138人</td> <td>145人</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>483人</td> <td>501人</td> <td>510人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>20人</td> <td>38人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>16人</td> <td>26人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	常勤医師数	138人	145人	149人	常勤歯科医師数	4人	3人	3人	常勤看護師数	483人	501人	510人	常勤准看護師数	0人	0人	0人	医師クラーク	20人	38人	48人	看護クラーク	16人	26人	26人	IV	<p>評価の検討</p> <p>IV→III</p> <p>医師、看護師、医師クラークについて増員していることは評価できるが、これだけを以って年度計画を上回るものとはいえない。</p> <p>IVのまま</p> <p>医師、看護師、医師クラークについて増員し勤務環境の改善に努めており評価できる。</p>	<p>「III」</p> <p>医師、看護師、医師クラークについて増員し、職員の最適な勤務環境の向上に努めていることは評価できるが、これだけを以って年度計画を上回るものとはいえない。</p>
	H22	H23	H24																														
常勤医師数	138人	145人	149人																														
常勤歯科医師数	4人	3人	3人																														
常勤看護師数	483人	501人	510人																														
常勤准看護師数	0人	0人	0人																														
医師クラーク	20人	38人	48人																														
看護クラーク	16人	26人	26人																														